

過去 10 年の 8 月の好パフォーマンス銘柄は？



今週は重要イベント目白押し

今週は重要な発表、イベントが目白押しだ。ISM 製造業景況指数、雇用統計といった米国の重要経済指標の発表に始まり、イングランド銀行の金融政策委員会の開催、アップル（AAPL）とトヨタ自動車（7203）という日米の時価総額ナンバーワン企業の決算発表、さらに安倍内閣の内閣改造、北朝鮮のミサイル発射問題への対応などマーケットのセンチメントを一変させかねない重要イベントばかりである。足元の日本市場は膠着感が非常に強いが、これらの材料をきっかけにレンジ相場大きな変化が出る可能性に注意しておいたほうが良いだろう。

本レポートでは、株価の季節性に着目し過去 10 年間 8 月に好パフォーマンスだった銘柄をご紹介します。

過去 10 年のうち 8 月に 9 回上昇した銘柄とは

東証 1 部・2 部・マザーズ上場銘柄のうち、過去 10 年間の株価データを取得できた 2,090 銘柄について 7 月末と 8 月末の株価を比較した騰落回数を算出した。表 1 の通り、過去 10 年間 8 月にすべて上昇した銘柄はなかったが 10 年のうち 9 年で上昇した銘柄が 6 銘柄あった。

表1：過去10年間8月の上昇回数別銘柄数

8月の上昇回数	銘柄数	構成率
10回	0	0.0%
9回	6	0.3%
8回	21	1.0%
7回	53	2.5%
6回	144	6.9%
5回	286	13.7%
4回	438	21.0%
3回	503	24.1%
2回	403	19.3%
1回	204	9.8%
0回	32	1.5%

(出所) QUICKデータよりマネックス証券作成

表2：過去10年の8月の上昇回数が多かった銘柄

銘柄コード	漢字略称	過去10年の 8月の上昇回数	過去10年の 8月の平均上昇率	東証33業種	7月31日 終値 (円)	売買単位	予想PER (倍)	実績PBR (倍)	決算月日
2224	コモ (ジャスタック)	9回	1.1%	食料品	2,405	100	69.6	7.3	03/末
2811	カゴメ (東1)		1.7%	食料品	3,350	100	34.1	3.3	12/末
4547	キッセイ薬品工業 (東1)		2.4%	医薬品	2,855	100	17.7	0.9	03/末
6413	理想科学工業 (東1)		9.4%	機械	2,306	100	28.5	1.4	03/末
7874	レック (東1)		3.3%	化学	2,700	100	20.7	2.0	03/末
9684	スクウェア・エニックス・ホール (東1)		7.5%	情報・通信業	3,615	100	26.1	2.4	03/末
1780	ヤマウラ (東1)	8回	3.0%	建設業	995	100	22.2	1.6	09/末
2154	トラスト・テック (東1)		11.2%	サービス業	2,319	100	24.1	7.5	06/末
2398	ツクイ (東1)		6.7%	サービス業	670	100	17.3	2.5	03/末
2698	キャンドゥ (東1)		0.0%	小売業	1,708	100	22.5	2.4	11/末
2791	大黒天物産 (東1)		1.7%	小売業	5,470	100	21.1	2.5	05/末
4555	沢井製薬 (東1)		2.8%	医薬品	6,220	100	12.6	1.7	03/末
4919	ミルボン (東1)		4.4%	化学	6,430	100	29.4	3.6	12/末
4924	シーズ・ホールディングス (東1)		2.6%	化学	3,970	100	31.5	6.5	07/末
4958	長谷川香料 (東1)		1.9%	化学	2,324	100	24.2	1.2	09/末
7604	梅の花 (東2)		1.7%	小売業	2,799	100	1,129.1	3.2	09/末
8153	モスフードサービス (東1)		1.3%	卸売業	3,440	100	46.1	2.3	03/末
8163	サトレストランシステムズ (東1)		1.1%	小売業	917	100	67.7	2.2	03/末
8255	アクシアル リテイリング (東1)		2.7%	小売業	4,325	100	17.4	2.0	03/末
8363	北国銀行 (東1)		2.9%	銀行業	446	1,000	15.7	0.5	03/末
8798	アドバンスクリエイト (東1)		1.3%	保険業	1,960	100	34.5	4.8	09/末
9046	神戸電鉄 (東1)		1.2%	陸運業	403	1,000	28.7	1.9	03/末
9081	神奈川中央交通 (東1)		0.8%	陸運業	728	1,000	10.9	0.9	03/末
9511	沖縄電力 (東1)	3.4%	電気・ガス業	2,601	100	24.4	0.7	03/末	
9536	西部ガス (東1)	0.6%	電気・ガス業	277	1,000	17.1	1.5	03/末	
9728	日本管財 (東1)	4.6%	サービス業	1,984	100	15.9	1.7	03/末	
9850	グルメ杵屋 (東1)	1.3%	小売業	1,126	1,000	67.5	1.8	03/末	

(出所) 7月31日時点のQUICKデータよりマネックス証券作成

表2で紹介したとおり、過去10年間で8月に9回上昇したのが、コモ(2224)、カゴメ(2811)、キッセイ薬品工業(4547)、理想科学工業(6413)、レック(7874)、スクウェア・エニックス(9684)の6銘柄である。中でも平均上昇率が特に高かったのが理想科学工業(9.4%)とスクウェア・エニックス(7.5%)であった。今年の8月も過去の傾向通りとなるかどうかはわからないが、1つの参考として株価をウォッチしていただければ幸いだ。

なお、4月や7月にも本レポートと同様の趣旨のレポートを書かせていただいたが、それをお読みいただいたお客様から以下のご感想を賜った。

「日本電産を本日売却して5%の利益になりました。4月には富士通ゼネラルで10%の利益を上げることができました。今後もこのような企画を継続して下さい。」

もちろんレポートで紹介した銘柄のパフォーマンスがどうなるかはわかりませんが、たまたま過去の傾向通りになった可能性もありますが、お客様からこのようなご感想をいただけることは執筆者としてこれ以上ない喜びです。励みになるご投稿本当にありがとうございます。

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会